

長岡市栃尾地域の谷内通り商店街で、空き家を改装したギャラリーがオープンした。白を基調とした空間に最初の展示となる廃材を活用したアート作品が並べられ、地域住民らが見学に訪れている。

木造2階建ての1階部分約65平方メートルをギャラリー「白屋堂堂」にした。市の中山間地域活性化策の一環として、長岡造形大出身で栃尾の地域おこし協力隊員、加治聖哉さん(24)が昨年夏から準備してきた。

お披露目として12日に始まった展覧会では、加治さんが廃材で作った動物型の作品約20点を展示。高さ約3・5メートルのカシマグロは、小さな穴を開けた金属板でう

ギャラリーでまち元気に

尾

空き家改装、廃材アート展示

ろこを養現。オオカミやワシなども、形が不ぞろいな木片を組み合わせてリアルに再現している。

集まった住民らに向け、加治さんは「ギャラリーを活用し、まちが元気になったと思ってもらえたらうれしい」とあいさつ。イベント会場や憩いの場としても活用していく考えだ。

準備を見守ってきた近くの自営業、富川アキ子さん(76)は「大したもんだ。大勢に来てもらって、にぎわってほしい」と期待していた。

展示は27日まで。20日休み。ギャラリーは利用希望者を募っている(有料)。問い合わせは加治さん、080(2051)4663。



空き家を改装したギャラリーを見学する住民ら
＝長岡市谷内2